

授業科目	保育内容「表現(造形・絵画表現)」(CD クラス)				単位	1		
履 修	選択	関連資格	幼二種免 保育士		ナンバリング	CH21406J		
開講年次	2	開講時期	前期	該当DP	DP1-2 DP5-2 DP5-3			
担当教員	平 寛							
授業概要	<p>本科目は、「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「認定こども園教育・保育要領」における領域「表現(造形・絵画表現)」に基づき、造形表現の楽しさや面白さを体得できるような造形実技演習、教材研究をとおして、保育者に必要な感性の表現を養えるよう授業を展開する。また、子どもの発達段階に即した豊かな感性を育む表現の重要性について教授し、修得した技能や知識を、実際の保育の現場で応用できるように指導する。新型コロナ禍、非常事態の為感染対策をおこない、全 14 回対面授業とする。また、状況次第では Web 授業となることがある。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<p>1.領域「表現(造形・絵画表現)」のねらい及び内容を踏まえ、幼児が経験し身につけていく内容と指導上の留意点を理解している。</p> <p>2.領域「表現(造形・絵画表現)」において、幼児が経験し身につけていく内容の関連性や小学校の教科書等とのつながりを理解している。</p> <p>3.幼児の認識や思考、動き等を視野に入れた保育の構想の重要性を理解している。</p> <p>4.領域「表現(造形・絵画表現)」の特性や幼児の体験との関連を考慮した情報機器の及び教材の活用法を理解し、保育の構想に活用する事ができる。</p> <p>5.指導案の構成を理解し、具体的な保育を想定した指導案を作成できる。</p> <p>6.模擬保育とその振り返りをとおして、保育を改善する視点を身につけている。</p> <p>7.領域「表現(造形・絵画表現)」の特性に応じた保育実践の動向を知り、保育構想の向上に取り組む事ができる。</p> <p>8.様々な素材、道具に慣れ親しみ、豊かな表現ができるようになる。</p>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	20	30	50	0	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)			20				20	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)				10	50		60	
技能・表現 (DP5-3)				20			20	
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
1.様々な素材、道具を使いこなし、子どもの発達段階に即した指導ができる。 2.領域「表現(造形・絵画表現)」に関わる具体的な指導場面を想定した保育を構想し実践することができる。				領域「表現(造形・絵画表現)」に関わる具体的な指導場面を想定した保育を構想し実践することができる。				

3.保育者に必要となる主体的な学びと協働を実践することができる。				
授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	オリエンテーション 授業の概要について説明し、目的、達成の目安、評価の内容と方法について解説する。 「幼稚園教育要領」・「保育所保育指針」の表現(造形・絵画表現)の内容について解説する。 絵画研究 1 「身近なもので絵具づくり」 矩形分割法・下描きによる教材研究	講義・演習	講義の復習。	60
2	絵画研究 2 「身近なもので絵具づくり」 各種素材による教材研究	講義・演習	授業で使用する素材の選定・準備。実施した内容について実践できるよう考える。	60
3	絵画研究 3 「身近なもので絵具づくり」 仕上げに向けての制作による教材研究	演習	授業を踏まえ、使用する素材の選定・準備。実施した内容について実践できるよう考える。	60
4	絵画研究 4 「身近なもので絵具づくり」 作品発表・相互鑑賞	講義 演習	講義の復習。学んだことを実践できるように考える。	60
5	動く彫刻で環境構成 1 「モバイル制作」 素材からのアイデアスケッチによる教材研究	講義・演習	講義の復習。授業で使用する素材の選定・準備。学んだことを実践できるように考える。	60
6	動く彫刻で環境構成 2 「モバイル制作」 パーツ制作による教材研究	演習	授業を踏まえ、使用する素材の選定・準備。実施した内容について実践できるように考える。	60
7	動く彫刻で環境構成 3 「モバイル制作」 仕上げに向けての制作による教材研究	演習	授業を踏まえ、使用する素材の選定・準備。実施した内容について実践できるように考える。	60
8	動く彫刻で環境構成 4 「モバイル制作」 仕上げに向けての制作による教材研究	演習	実施した内容について、子ども達に実践できるように考える。	60
9	動く彫刻で環境構成 5 「モバイル制作」 作品発表・相互鑑賞	講義	講義の復習。学んだことを実践できるように考える。	60
10	総合的制作 1 「ストップモーション アニメ」 課題説明(参考作品鑑賞) 内容の検討と素材からのアイデアスケッチによる教材研究	講義 演習	講義の復習。学んだことを実践できるように考える。	60
11	総合的制作 2 「ストップモーション アニメ」 アイデア・絵コンテを基に制作	演習	授業を踏まえ、使用する素材の選定・準備。実施した内容について実践できるように考える。	60
12	総合的制作 3 「ストップモーション アニメ」	演習	授業を踏まえ、使用する素材の選定・準備。実施した内容	60

	アイデア・絵コンテを基に制作		について実践できるように考える。	
13	総合的制作 4 「ストップモーション アニメ」 編集・仕上げ・保存	講義・演習	講義の復習。学んだことを実践できるように考える。	60
14	総合的制作 5 「ストップモーション アニメ」 作品発表と相互鑑賞・まとめ	講義	授業を総括し、自身の課題と展望を整理する。	60
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	日常的に美術鑑賞や造形関連書籍を読むことで造形・絵画に親しみ、表現分野の知識について探求する時間を持つことが必要です。また、子どもの関心・興味について実習等で観察しておくこと。			
テキスト	授業内でプリントを配布する。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領			

授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	授業で実施した造形活動を子どもへの活動につなげることを常に考えてください。ひとつの材料でも様々な活動に展開できるように、知識と技術、それと発想力を養ってください。
達成度評価に関するコメント	課題の内容、発表のポイントについては授業で詳しく述べます。